

『ニュージーランド研究』執筆要領 (2012 年 6 月改定)

I. 原則

原稿提出は Windows の Word で開くことができるように作成 (必須) した完全原稿を E-mail 添付、下記の編集部あて送付する。編集部では投稿原稿の編集、版下作製作業を行い、印刷所で印刷・製本される。「投稿規程」および「執筆要領」に従って注意深く作成されるように各位のご協力をお願いしたい。

II. 原稿用紙、用字等

(1) 和文原稿：A4 版用紙に上 35mm 下 30mm、左右 30mm の余白設定とする。1 ページは横書きで 40 字×40 行とする。

(2) 英文原稿：A4 版用紙に上 35mm 下 30mm、左右 30mm の余白設定とする。1 ページは横書き、フォントは 10.5 ポイントとし、40 行に設定。

(3) 表題、姓名、所属、数個のキーワードを本文の前に記載 (サンプル参照)。

(4) 図、表、グラフ、写真などは本文に挿入して提出する。

(5) 常用漢字、新字体、新仮名づかいを用いることを原則とするが、固有名詞・引用文などやむを得ない場合はこの限りでない。

(6) 外国の人名・地名、和文表記しにくいテクニカルタームは片仮名書きとし、初出の場合にのみカッコの中に原表記をいれてもよい。

(7) 数字および欧字は、半角とする。ただし、本文中のアクロニム (例：UNESCO)、% は全角とする。NZ は原則として、和文ではニュージーランド、英文では **New Zealand** とするのが望ましい。

(8) 単位の表示は m、km、m²、g、kg、t、kl などの表記を原則とし、半角とする。

(9) 動植物の名 (ラテン名)、欧文の図書・雑誌・新聞名などはイタリック体とする。

III. 本文

(1) 表題および本文の様式はサンプル参照のこと。段落の始めは 1 字あけ、段落を明確に示す。または段落ごとに一行あける様式でもよい。この場合は 1 字あけることは不要。

(2) 章の見出しは I・II の記号、節の見出しは 1・2 の記号とし、項以下の見出しがあれば、(1) (2) を用いる。

(3) 英文の場合は、執筆者がネイティブ・スピーカーでない限り、原稿をネイティブ・スピーカーなどの校閲を経て提出し、英文としての正確さを期すこと。

IV. 注・文献

(1) 注は本文の該当箇所の右肩に小さく、¹⁾、²⁾ のようにつけ、すべて通し番号にする。

(2) (必須) 注は文末脚注 (後注) とし、本文のあとに一括して記載。注番号ごとに改行する。

(3) 同一文献を再度引用する場合は、新しい注番号をつけ、前掲 5) 152 頁 のように示す。

(4) 注とは別に文献表を、あるいは文献表のみを掲げる場合には、和文のものを先にし、著者名の 50 音順に並べる。欧文文献は後にし、著者名のアルファベット順に並べる。英文原稿の場合は欧文のものを先、和文を後に並べる。

(5) 文献の記載方法は、原則として各分野において確立されているルールによる。ただし、必ず記載方法に一貫性をもたせること。

V. 表および図・グラフ・写真等

(1) 図表はそのまま印刷できる版下原稿であること。

(2) 表：表番号と表題を表の上に記載し、出典を注記する。表 1 のように通し番号とする。

- (3) 図・グラフ：図番号・表題はそれぞれの図の下に記し、図1のように通し番号とする。引用によるものは必ず出典を示す。
- (4) 紀要は B5 版であるから、大きさはそれを念頭におく。図は縮小して印刷するのがよいので、図原稿はそれを見込んで刷り上り予定の 1.5 倍～2 倍の大きさが望ましく、図中の文字等の大きさも縮小されることを配慮する。
- (5) 写真：図として取り扱い、図の下に図番号と表題をつけ、図と共通の通し番号をつける。短い説明をつけることは可。カラー写真はモノクロームとしてしか掲載できない。図表やグラフの作成にはモノクローム仕上がりでの濃淡、コントラストなどを考慮する。図を本文に取り込んで完成原稿を作成することが望ましいが、編集部での編集過程の本文修正によって移動することを考慮すること。とり込めない場合は本文に挿入箇所を記し、別ファイルで図と説明（キャプション）を編集部へ送付する。

VI. キーワード

- (1) 論説および研究ノートにはキーワードをつける。キーワードはその論文のテーマ、分野、目的、方法等をよく表現するものを数個選ぶ。
- (2) 執筆者名の次に 1 行あけて左寄せで記す。
- (3) 和文、英文のキーワードを記す。

VII. 要旨（要約）

- (1) 目的、方法、結果などが要旨を読むだけでも理解できるように表現する。長さは表題部分を含めて約 40 行（1 頁）までとする。
- (2) 和文論文・研究ノートの英文要旨、執筆者がネイティブ・スピーカーでない英文論文は、編集部を通して必ず英文校閲を受ける。（必須）翻訳の正確さを期すために、和文原稿には表題、氏名、所属、キーワードを付けた英文要旨とともに和文要旨、また英文原稿には和文要旨とともに英文要旨の 2 種類を必ず提出する。

VIII. 締め切り

- (1) 論説・研究ノート原稿の締め切り：8 月 31 日。
- (2) その後、論説・研究ノートはレフェリー査読、修正、校正等を経て確定稿提を作成する。確定原稿提出の出締め切り：10 月 25 日。
- (3) 書評・抄録等：9 月 20 日、ニュース：10 月 20 日、その他は別途定める。

IX. 発行日

毎年 1 回、12 月上旬発行。

原稿等の送付先：

〒600-8234 京都市下京区南不動堂町 805-702
ニュージーランド学会『ニュージーランド研究』編集部
Fax: 075-361-3563 E-mail: b-yuki@nifty.com